

みずほCustomer Desk Report 2021/06/10 号 (As of 2021/06/09)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	109.45
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.48	1.2172	133.29	1.4153	0.7737
SYD-NY High	109.66	1.2218	133.62	1.4190	0.7762
SYD-NY Low	109.23	1.2172	133.23	1.4110	0.7724
NY 5:00 PM	109.63	1.2179	133.54	1.4114	0.7731

NY DOW	34,447.14	▲ 152.68	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	13,911.75	▲ 13.16	日本10年債	0.0600	▲1.00bp
S&P	4,219.55	▲ 7.71	米国2年債	0.1558	0.21bp
日経平均	28,860.80	▲ 102.76	米国5年債	0.7492	▲2.57bp
TOPIX	1,957.14	▲ 5.51	米国10年債	1.4916	▲4.57bp
シゴ日経先物	28,820.00	▲ 165.00	独10年債	-0.2480	▲2.35bp
ロンドンFT	7,081.01	▲ 14.08	英10年債	0.7310	▲3.90bp
DAX	15,581.14	▲ 59.46	豪10年債	1.5300	▲5.40bp
ハンセン指数	28,742.63	▲ 38.75	USDJPY 1M Vol	5.25	0.05%
上海総合	3,591.40	11.29	USDJPY 3M Vol	5.54	▲0.02%
NY金	1,895.50	1.10	USDJPY 6M Vol	6.00	0.02%
WTI	69.96	▲ 0.09	USDJPY 1M 25RR	-0.13	Yen Call Over
CRB指数	211.166	▲0.04	EURJPY 3M Vol	5.45	0.03%
ドルインデックス	90.12	0.04	EURJPY 6M Vol	6.00	0.04%

東京	東京時間のドル円は109.48レベルでオープン。翌日に米CPIの発表を控え様子見ムードも強い中、めぼしい取引材料もなく、動意に欠ける展開。前日に米金利が低下した影響は、円売りが強い影響もあってかそこまで見られず、日中は9銭程度の非常に狭いレンジ内での値動きにとどまり、109.48レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は109.48レベルでオープン、オープン直後は低調に推移した米長期金利につられ109.33まで値を下げるも、その後は20銭以内の方向感に欠ける動きとなり、109.39レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は新規の手がかり材料が乏しい中、109.40を挟んだ狭いレンジで推移。米金利の低下を受けて欧州通貨や資源国通貨に対してドルは売られるも、加ス円の堅調に推移していたことからドル円は下げ渋り、109.39レベルでNYオープン。朝方は米10年債利回りが1.5%を明確に下げ、約3ヶ月ぶりの低水準をつけたことからドル売りが一段と加速し、一時109.23まで下落。しかし、その後は米金利の低下幅縮小や、明日の米5月CPIやECB理事会の結果発表を意識したポジション調整のドル買いにサポートされたことから反発し、109.60近辺まで買い戻される。午後は109.60近辺で膠着状態が続く。109.66まで高値を更新する場面もあったが、最後まで方向感はず、結局、109.63レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.21台後半でスタートし、米金利低下の動きを眺めながらドルが売られ、じりじり1.2198まで上昇し、1.2195レベルでNYオープン。朝方は米長期金利の1.5%割れを受けてドル売りが加速したことから1.2218まで高値を更新。しかし、ECB理事会を控えていることからユーロを積極的に買い戻す動きは見られず、その後は上昇分を全て吐き出した。午後は1.2180近辺の狭いレンジでの取引が続き、結局、1.2179レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前経路なしに変更される可能性があります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することは禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

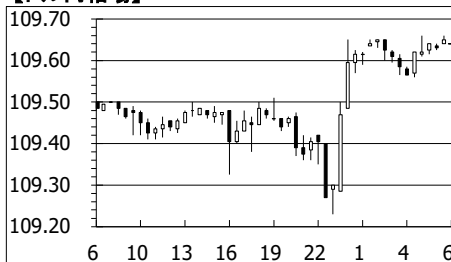
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月9日	10:30	中 CPI(前年比)	5月 1.3%	1.6%
	10:30	中 PPI(前年比)	5月 9.0%	8.5%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	4月 0.8%	0.8%
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	4月 0.8%	-

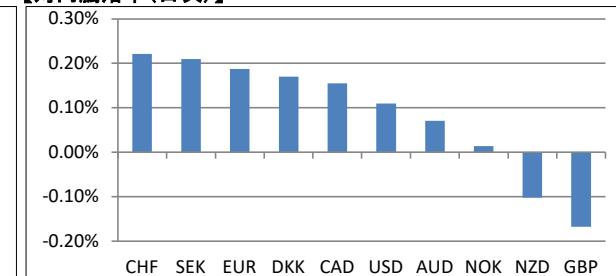
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月10日	20:45	欧 ECB主要政策金利	10-Jun 0.0%	0.0%
	20:45	欧 ECB預金ファシリティーレート	10-Jun -0.5%	-0.5%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	5月 0.5%/4.7%	0.8%/4.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	5-Jun 370k	385k
	6月11日	02:00	加 レーン・カナダ中銀副総裁 講演	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.10-110.10	1.2140-1.2240	133.00-134.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上下する展開。東京時間は、CPIの発表を控え閑散。海外時間に入り、米金利がじりじり低下し、1.5%を割り込むとドル円も109.23まで下落。その後は、重要イベントを意識したポジション調整のドル買いから、109.66まで上昇し、同水準で揉み合う展開となった。

本日はECB理事会、米5月CPIの発表といった重要イベントを控える。ラガルド総裁を含む当局者はテーパリング議論は時期尚早との発言を繰り返しており、大幅なスタンスの変更はないものと予想。また、先週の雇用統計からテーパリング期待は一服しているが、CPIの良好な結果からインフレ懸念の高まりとなれば、ドル円も上昇モメンタムの回復となるだろう。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア		12	9